



建築士

<http://chiba-kenchikushikai.com>

2024 Season 59

令和6年5月1日発行

512

CHIBA



～手賀沼親水広場・水の館(我孫子市)～写真提供:渡邊哲也(柏・我孫子)

【特集】 印旛まちなみウォッチング印旛を終えて / 印旛まちなみウォッチング・麻賀多神社

【レポート・寄稿】 ガーナ野口記念医学研究所への訪問 / 令和6年1月1日能登半島地震(石川県七尾市にて)

大多喜町の歴史まちづくりセミナー開催される

【原っぱ】 ～弁護士アジローがゆく～ #8「みんなも読もう!『建築士 CHIBA』の巻」

中小企業診断士 カッシーに聞け!～経営知識を身につけよう～

【SDGs・DX】 2030年に向けた国際目標SDGs

【ご案内・募集】 ハリテージマネージャー講座案内

【会員の動静】 / 【編集後記】

印旛まちなみウォッチング印旛を終えて

星 隆浩 (印旛)

まちなみウォッチング印旛に多数の会員の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

また、ご参加いただきました小池県議、ご協力いただきましたまちづくり委員会の方々にも深く御礼申し上げます。

本イベントは印旛支部元支部長の故・鶴沢香織さん(愛称、カオリン)が企画立案したもので、私たち印旛支部がロードマップに沿って開催したものです。無事、開催することが出来てほっとしています。

さて当日午前中は東勝寺、宗吾御一代記館、霊宝殿と3班に分かれ、同時並行で見学しました。

1つ目は東勝寺です。事務長の片寄様から寺の創建の由来をお聞きし、知識を深めました。おさらいをしますと、西暦700年代後半、平安京への遷都が行われたころ、桓武天皇に征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂が房総を平定した際に、戦没者供養のために創建されたお寺です。



東勝寺 事務長 片寄様講話

あれ?お寺って建立(こんりゅう)って言わなかったっけ?とお思いでしょうが、2つの違いを説明しますと、創建というのは初めてその土地に建物を作る事で、建築士的に言うと60条申請して敷地を設定してから建てるのです。では小学生の時に習った建立とは何でしょう。すでに敷地設定の済んでいる土地に、寺院や神社を建てる事なのです。別棟の増築をイメージするとわかりやすいでしょう。何度も火災に遭い各地を転々しますが、ここ下方の地方に移転してきたのが1662

年、奇しくもこの3年後の1665年にロンドンでペストが大流行しました。最終的に再建されたのが1921年なので築103年という事になります。

2つ目、宗吾御一代記館です。昭和の観光地を思わせる人形が並びますが、内容はハードで重税に苦しむ民を救うために四代徳川家綱將軍に直訴し、奥様や子供たちを道連れに、磔の死罪となってしまったお話は、館を出るころには涙が頬を伝えます。裏話なのですが、本来はMDデッキの自動再生で音声案内が流れるところ、機器が故障しておりまして、案内スタッフが肉声で説明してくるようになったんです。まあ、感情がこもっていて涙声で説明してくださるものですから、こちらももらい泣きです・・・(´Д｀)グス



宗吾御一代記念館

3つめの霊宝殿では歴史的資料や芸能人のサインが多数飾ってあります。血染めの鎧が見ものなのですが、鮮血ではなく真っ黒なので血と言われれば血に見えなくもないかなと。

そして後半に移り、またまた3班に分かれて麻賀多神社、宗吾旧宅、きのこクラブで昼食です。

麻賀多神社は総代の特別な計らいで毎月1日と15日にしか開かない社務所を開けていただき、御朱印をいただくことが出来ました。さらに総代ご自身が社殿内部で麻賀多神社の来歴を説明してくださいました。この下方の大地では古来から麻が栽培されており、多氏(おおし)という氏族が創建した神社なので、「麻の国で多氏が賀す神の社」で麻賀多神社という名前になりました。

ちなみにお隣の佐倉という地名も「麻の倉」から転じた名前でもあります。この麻賀多様で祀られている神様はワクムスビノカミと申しまして、五穀豊穰、子孫繁栄、縁結びと沢山のご利益があります。ここで会場の皆様にはお伝えした神社にお参りする時のマナーですが、鳥居をくぐる際は真ん中を避け、社殿までの道は真ん中を歩くことは避けましょう。真ん中の正中線は神様が通られる道なので鳥居の手前で一礼をしてから左右どちらかに寄って中に入ります。また鈴を鳴らしてお参りする際は、心の中で自分の住んでいる場所と名前を神様にお伝えします。神様もこれだけ多くの人の中からあなたを見分けるのは難しいですよ。そしてお願いをする時は「金が欲しい！ 伴侶が欲しい！ 有名になりたい！」などの直接的な願いはいけません。「私は一生懸命身を粉にして働くので、どうかお金を得るためにお力添えください」「私は結婚したいです、内面も身だしなみも磨きますので、ステキな人と巡り合えるようにお力添え下さい」と他力本願にならないようお願いすると、きっと神様は叶えてくれるやもしれません。総代は西暦 112 年にヤマトタケルノミコトが奥方を亡くした後に失意のどん底に居ましたが、麻賀多神社に訪れたところメラメラと燃える情熱を取り戻し、東制に赴いた事を説明してくださいました。また、同じ敷地内に天之日津久神社（あまのひつぐじんじゃ）が有り、1941年に



樹齡千三百有余年を誇る東日本一の大杉
岡本天命が日月神示（ひつぐしんじ）という予言書

めいたものを自動書記で書いたと言われています。日本流のノストラダムスの大予言ですね。この日月神示では御嶽山の噴火やコロナの流行を予言されていました。また、「日本の国は一度つぶれたようになるのぞ。一度は神も仏もないものと皆が思う世が来るのぞ」第 1 巻第 9 帖で日本の敗戦を予言していました。洋画ですがニコラス・ケイジ主演のノウィングが自動書記の予言をテーマにした映画で、よりエンタメ性が強く面白かったです。また、敷地の奥には樹齡 1300 年の大杉もあり、パワースポットとして有名です。



きのこクラブでの昼食

次は古民家を改装したカフェ「きのこクラブ」です。コロナ禍で一度閉店していたのですが、幸運なことに営業再開していました。いつもはフィッシュ or ミート？なのですが、本日は建築士会のための特別メニュー！美味しいもの全部盛り付けちゃいました。脂ののったサバに肉団子、暖かい野菜スープに桜餅まで。玄米ごはんも美味しかったです。マスターも予定の当初予定の 1.5 倍数の絶え間ない来客に対応してくださり感謝しています。

そして 3 つ目の宗吾旧宅。こちらは先ほどの宗吾義民伝の木内惣五郎が住んでいた旧宅です。第 17 代当主、木内克子さんが自ら解説をしてくださいました。

この宗吾旧宅は千葉県建築士会で、ヘリテージマネージャーの活動で使わせていただいた過去があり、資料として令和 2 年にカオリンが作成した木内邸所見と図面一式を配布しました。



宗吾義民伝の木内惣五郎が住んでいた旧宅
 旅はまだ続きます。こちらは甚兵衛渡し公園。
 惣五郎様を禁を犯して深夜に船を出し藩の追っ
 から逃がした渡し守の甚兵衛のゆかりの地です。
 御一代記館のハードな内容とは打って変わって菜
 の花の咲くのどかな場所で記念撮影。



甚兵衛渡し公園で記念写真

先週までは梅も咲いていたのですが、散るのを待
 ってはくれなかったですね。



次は谷養魚場。体長 1650mm のアオウオは巨大
 で小さな金魚たちも可愛かったです。

谷養魚場ではパターゴルフも併設しています。
 1時間で18ホール、パターのみで回れるのでパタ
 ーを練習したい方にはちょうどいいでしょう。
 私も一緒に楽しませてもらいました。



パターゴルフ中

最後は錦谷さんでの懇親会。今日は支部交流会
 でしたっけ？と思うほどの多数の皆様の参加あり
 がとうございます。皆様が相当の酒豪だという事
 をワタクシ忘れておりました(;^ω^)
 お店のスタッフにも「日本酒の量が結構出ていま
 すが大丈夫ですか？」とご心配いただきましたが、
 利益を出すために開催しているわけではなく、皆
 様に喜んでいただくために企画したので、まあ大
 丈夫かとして思う存分飲んでいただきました。



最後はみんなで懇親会

この「まちなみウォッチング印旛」は原案が良か
 ったのであり、我々の手でその企画書を実現でき
 た事を誇りに思います。皆様からの喜びの声をカ
 オリンに捧げます。沢山の人数でこのイベントを
 盛り上げてくださったことに深く感謝します

最後のチャンス

ヘリテージマネージャー基礎講座は今年で最後！



令和5年度講習風景

歴史的建造物の保全活用に係る専門家（以下、ヘリテージマネージャー）育成講習は、歴史的建造物の基礎知識を習得する講座でしたが、**今年度の講習が最後**の実施となり、次年度以降は、上記基礎講座を受講された方を対象とした「ステップアップ講座」を開講する予定です。

実は、このヘリテージマネージャー講習、昨年度までに、45都道府県の建築士会で実施しています。しかし、**全国すべての地域で実施できている状況ではありません**。千葉県建築士会は、歴史的建造物の保全活用に建築士が関わることの重要性を思索し、2010年から講習を開設してきました。現在では、43名のちばヘリテージマネージャーの方々が県内において活躍しています。

ヘリテージマネージャー育成講習では、実際に文化財を管理している行政の方や、歴史的建造物を研究されている大学の先生、文化財の修復に携わっている棟梁が講師を務められ、**受講しなければ聞くことのできないリアルで貴重なお話をたくさん聞くことができます**。

数万円払わないと受講できない地域もありますが、**千葉県建築士会では県の補助事業受けて実費(数千円)**という破格値で受講できることは魅了の一つです。

【ちばヘリテージマネージャーになるまでの流れ】

1. 合計60時間の講習(講義と自主演習)を受講
2. 自主演習提出・受講終了後、修了証が渡されます
3. 各々の地域で歴史的建造物を発掘・調査を行い、レポート(実測図及び保全・活用策の提案)を提出
4. レポートの内容審査を受け、ちばヘリテージマネージャー登録が可能となります

※連合会では修了時点で「(建造物)ヘリテージマネージャー」としていますが、千葉県では、もう一步踏み込んで「ちばヘリテージマネージャー」としています。これは、活動できる専門家が県内54市町村にそれぞれ2名以上いていただき、地域に根ざした活動をして欲しいとの期待からです。

地域活性化や空き家活用にもつながり、地域に貢献できる活動です。ご興味ある方は、是非！

印旛まちなみウォッチング・麻賀多神社

百瀬 登展（行政OB）

3月2日開催の「印旛まちなみウォッチング」に参加させていただきました。主催されたまちづくり委員会・印旛支部の皆様には感謝申し上げます。

私は成田に移り住んで33年です。今回のコースは自宅から3~4kmくらいで、よく散歩やジョギングで行くお気に入りの場所です。是非参加したいと思っていました。

今回のイベントでは、宗吾霊堂の本堂で住職の、麻賀多神社では本殿内で総代会会長の、義民・佐倉（木内）宗吾様生家では17代目ご当主木内さんのお話を聞かせていただきました。いずれも初体験で興味深いものでした。その中でも、前から興味があり少し調べてみたことがあった麻賀多神社の事を中心に記事を書かせていただきます。



麻賀多神社入口鳥居

麻賀多神社は、私が知っているだけでも、今回伺った成田市台方の他、成田市船形、佐倉市鐺木町と三か所あります。いずれも長い歴史がありそうです。

私の故郷信州諏訪には全国各地の諏訪神社の総本社である諏訪大社があります。麻賀多神社も全国に多数の系列神社があるのではないかと考えていました。

ところが調べてみると、印旛沼の東側から南側にかけての地域にのみ存在する神社でした。ただ、小さいものまで含めると、成田市に2社、佐倉市11社、酒々井町2社、富里市2社、八千代市に1

社の18社あるそうです。歴史は古く、社務所に置いてある「麻賀多神社由来」書と総代表の説明によれば、今から1700年余りに遡ります。

大和朝廷の時代、当時の朝廷の地方長官がこの地域に天照大神（アマテラスオオミカミ・伊勢神宮内宮の御祭神）の姉神である稚産霊命（ワクムスビノミコト）を御祭神・麻賀多大神として崇めた（あがめた）のが始まりのようです。以降近隣18社の総社として、また地域の鎮守様として広く崇拝されてきたそうです。

また、境内の石碑にはそれ以前の由来が刻まれています。その昔、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）東征の折、今の成田市船形の麻賀多神社がある場所（台方の麻賀多神社の北800mほど）の大木の虚（うろ）に鏡を掛け、その根本に七つの玉を埋めて祈願したところ、五穀豊穡が続いたとあります。元々の麻賀多神社の始まりは成田市船形の地にあったとのこと。当時この2神を「真賀多真（勾玉）の大神」として祀ったとあります。

その後、推古天皇の時代608年に総社を台方に移し、船形の社殿を奥院と呼ぶようになります。

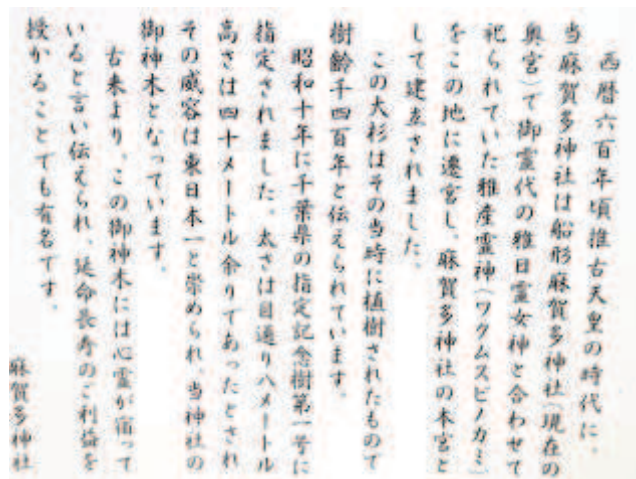
平安時代の中期に延喜式（えんぎしき）という50巻もの法典が編纂（927年成立）されました。その中に伊勢神宮を頂点とする全国の神社の一覧（延喜式神名帳・約2800社）があります。麻賀多神社は下総国の神社のひとつとして載っています。延喜式記載の際、「真賀多真」が三種の神器と同名であることから「真賀多神社」と改称したそうです。その後、一帯が麻の産地であり、代々朝廷から派遣される役人が多氏であったことから「麻賀多神社」（麻の国で多氏が賀す神社）となったとも言われています。正に由緒正しい歴史のある神社と言えるのではないかと思います。

佐倉市の麻賀多神社も起源は同じですが、徳川時代に土井利勝が佐倉城を築いてからは、地域の

氏神様と言うよりは、佐倉藩総鎮守の神として、崇敬されて今に至るようです。境内は樹齢 800 年の大銀杏など古木・大木に囲まれています。

調べてみると神社の世界にも複雑で長い歴史があり、興味深いものです。神社には社格と言うものがある(あった?)ことを知りました。その国の一番高い社格を持つ神社を一宮(いちのみや)と言うそうです。ちなみに下総国の一宮は香取神宮、上総国は玉前神社、安房国は安房神社でした。常陸国は鹿島神宮、信濃国は諏訪大社です。

台方の麻賀多神社の境内左奥には杉の大木の御神木があります。隣に立てられている説明板には次のように書かれていました。



御神木隣に立てられている説明板「由緒」

この御神木は昭和 10 年に千葉県の指定記念樹第 1 号に指定されたものです。

また、SNS などでパワースポットとして取り上げられ、成田の街の噂として、幹を凝視すると龍が天から降りてきているように見えるなど、色々な話題もあり、訪れる人は多いようです。

台方の麻賀多神社の本殿は平成 30 年に建替えられました。建替えの様子は散歩などで来て時々見ていましたが、今回、総代代表の説明をお聞きし、興味深いことを知りました。建替えに当たり、関係者で検討する中で、全国の神社の本殿について参考になるものはないかと調べたり検討したり

して、四国の某神社を参考にすることにしたそうです。その神社の設計図があり、それを参考に建替え工事を実施したそうです。建築物の設計や施工に携わる者として、すごく共感し、神社に親しみを感じました。「前例参考」は大切です。

境内には建設事業に御奉賛された方々のお名前と金額が書かれた木の札がありました。あらためて見てみると、1 万円の個人から 670 万円の地区まで 800 以上の個人や団体のお名前が連なっていました。「地域の鎮守様として広く崇拝されてきたそうです。」は正にその通りだと感じました。



樹齢千三百有余年の御神木



平成 30 年に建替えられた本殿

境内には神楽殿があります。毎年 7 月の大祭で御神楽(獅子舞)が奉納されます。この御神楽も昭和 50 年に成田市の文化財に指定されています。地域密着です。今回のイベントに参加して、1700 年の歴史の後も未来にわたって地域の人々に愛され続ける神社でいてくれるものと確信しました。

ガーナ野口記念医学研究所への訪問

三木 秀樹 (柏・我孫子)
(株式会社タック・インターナショナル)

◆経緯

私は、国際協力機構(以下、JICA)から、ガーナにある野口記念医学研究所(以下、野口研)の施設・機材維持管理業務を依頼され、2023年12月に現地を訪問した。私が野口研を訪問するのは2012年5月に続き2度目である。

◆ガーナ

ガーナは西アフリカ南部に位置し、南は大西洋に面する。面積は日本の約2/3、人口は約1/4。旧英国領であり、公用語は英語である。



図1 ガーナ周辺の地図(出典: Google Map)

ガーナの気候は高温多湿でカカオ豆の栽培に適している。ガーナの位置を知らなくてもガーナの名を冠するチョコを知る人は多いだろう。

ガーナのGNI(Gross National Income: 国民総所得)は日本の約1/20だが、世情は安定しており、堅実に成長している。

◆アクラ

野口研がある首都のアクラの人口は約220万人。近代的な商業施設もあり、食品や日用品などが容易に手に入る。車も多く、朝夕には立派な幹線道路が大渋滞する。かなり傷んだ中古車の乗合バスやタクシーが市民の足として活躍しているが、故障車が道路上に止まったり、それを乗客が押したりする光景も見られる。車は中古車・新車を含めて日本車が多く、アクラ周辺にはトヨタの工場もある。



アクラ市街の日本車の宣伝

◆旅程

東京からアクラまでの距離は約14,000kmで、地球の外周の約1/3である。直行便はなく、今回はエチオピアのアディスアベバで乗り継ぎをした。成田から韓国のインチョンを経由してアディスアベバまでは約15時間、さらにアクラまでは約6時間、乗り継ぎ時間を含めると、ほぼ1日である。私のような爺さんには少々キツイ。

◆野口研

野口研の名前は、野口英世博士に由来する。氏は1928(昭和3)年に、黄熱の研究中にアクラで亡くなった。偉人である氏に縁のある仕事に携わることには、少なからぬ感慨がある。



野口研にある野口記念館と博士の像

野口研は1979年に設立され、以来、ガーナにおける感染症研究の拠点、また日本のガーナに対する保健医療協力の拠点となっている。野口研では、JICAのほか東京医科歯科大学が活動してい

る。日本から地理的にも文化的にも遥かに遠いアフリカで、こうした活動が行われていることを、どれぐらいの日本人が知っているだろうか。

◆先端感染症研究センター

野口研の設立から 40 年後の 2019 年に、新たに先端感染症研究センターが整備された。



野口研の先端感染症研究センター

本施設は BSL(Bio Safety Level: 生物安全レベル)-3 の実験室 2 室を含む。BSL は扱われる病原体の危険度によって、低危険度の BSL-1 から高危険度の BSL-4 までに分類される。BSL-3 では「人や動物に重篤な病気を起こすが、感染伝播の可能性が低く、有効な治療法や予防法がある病原体」が扱われる。そのような病原体は、例えば、鳥インフル、SARS、MERS、黄熱、結核などである。

◆施設・機材維持管理業務

このような実験室を安全に機能させるための基幹機材の一つに HEPA (High Efficiency Particle Air) フィルターがある。HEPA フィルターは空気中に浮遊する病原体をほぼ完全に捕集するが、経年による目詰まりのため、適宜交換される必要がある。しかし、本施設の引き渡し時から現在までフィルターは交換されず、機能の低下が懸念されていた。また維持管理スタッフは引き渡し時に座学で交換方法を教育されたが、実際の交換に不安があった。このため、交換作業を指導・助言する本業務が実施された。

◆HEPA フィルター交換作業

実験室およびフィルターは病原体に汚染されているおそれがあるため、交換前にこれらを滅菌する(全ての微生物を殺す)必要がある。手順は、①滅菌用および中和用ガスで損傷するおそれがある機器をフィルムなどで養生する。②空調を停止後、給排気ダクトのダンパーを閉止し、扉の隙間をテープで封止する。③滅菌用ガスを充満させ、その後、中和用ガスを充満させる。



実験室内の養生・燻蒸作業

続いて、フィルターを交換する。手順は、①空調を運転し換気する。②既存のフィルターを撤去し、新しいフィルターを取り付ける。③フィルターの傷の有無や取付状態の良否を測定器で検査する。

事前に作業の手順や注意点などを資料にまとめ、維持管理スタッフに適宜説明しながら、作業を一緒に進めた。共同作業は楽しいものである。

◆所感

私は 2006 年、50 才の時にベトナムで海外業務を初めて経験した。その後、ベトナムで海外業務を続けながら 2012 年以降、南ア・ザンビア・ガーナ・ナイジェリア・フィリピンなどで海外業務を経験した。2018 年、62 才で設備工事会社を退職した後も、未だに続いている。

この流れは、自分の意志や能力ではなく巡り合わせ、つまり必然ではなく偶然であると感じる。人生とは、つくづく予測不能なものである。

2030 年に向けた国際目標 SDGs

企画・取材班 堀口智子

近年、注目されている SDGs は、私たちにどのような関わりがあるのでしょうか。ここでは簡単に、SDGs の概要と企業が SDGs に取り組むメリットについてご紹介します。

● SDGs (Sustainable development goals:持続可能な開発目標)とは？

国際社会が 2030 年までに貧困などを撲滅し、「誰一人取り残さない」ことを掲げ、持続可能な開発を実現するための重要な国際目標とされています。17 目標(ゴール)と 169 のターゲットで構成されており、ゴール 7、8、11、12 などは特に建築業界と関わりが深い目標です。



その枠組みとして以下 4 点があげられます。

- ① 持続可能な開発のための 2030 年に向けた国際目標
- ② 全ての国、全ての地域に普遍的に適用
- ③ ゴール・ターゲット・インディケーターの三層構造
- ④ 進捗状況のモニタリングと評価

★ SDGs (17 ゴール)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

● 企業がSDGsに取り組むメリットとは？

近年、多くの企業が SDGs を掲げ、積極的な取組を社会にアピールしています。その理由としては、勿論、国際目標である持続可能な開発を目指して取組を行っている企業もありますが、中には企業の「イメージアップ」のために SDGs を活用している場合も少なくありません。では、SDGs によりイメージアップをすると、どのようなメリットが考えられるのでしょうか。

1. 受注アップにつながる

SDGs を重視する傾向は、一般消費者にも広がり、社会的なリテラシーの向上により、案件の発注先を選ぶ際にも「SDGs に取り組んでいる企業なのか」を意識する人や企業が増えています。

2. 若手の採用につながる

SDGs への関心は、20 代が最も高く、若い世代ほど社会的課題の解決に意識を持っており、「その企業に勤めることで、自分はどの社会に貢献していけるか」を重視しています。SDGs への取り組みは、若い世代から選ばれる要素として必要となってきています。



令和6年1月1日能登半島地震(石川県七尾市にて)

布施 利勝 (市原)

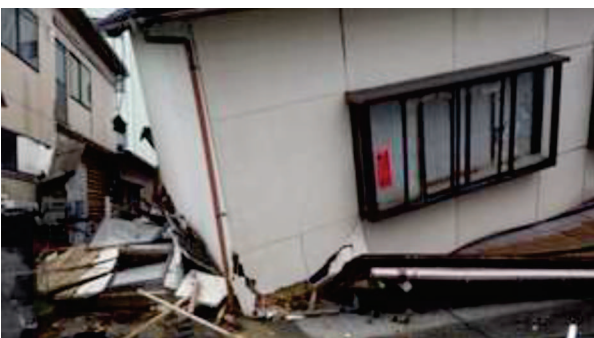
2024年1月1日に震度7の能登半島を中心とした地震が発生しました。広域災害時の地震保険の建物調査の仕事で1月に新潟に行き、2月からは、金沢に行くことになりました。金沢から「のと里山海道」を通り、七尾に入れるようになりましたが、途中で「緊急車両以外は通行できません」と警察の検問が実施されており渋滞が発生していました。

全国から応援の警察が来ており、検問やパトロールを実施する事で、災害時の盗難などの犯罪が起きないようにしているのだと思います。



石川県七尾市和倉町周辺 傾いている家

石川県七尾市に入っすぐ屋根の棟が全てズレ落ちているためブルーシートが目立つようになりました。水が使えないため、お店はほとんどやっていません。コンビニがろうじて開いていましたが、トイレが使用不可となっていました。傾いている家や潰れた家が目に入ってきました。道路の半分が崩れ、片側交互通行になっており渋滞が起きていました。金沢から輪島まで片道3時間半かかりました。



石川県七尾市和倉町周辺 1階が潰れている家



石川県七尾市穴水周辺 潰れた倉庫(車庫)



石川県七尾市穴水周辺 潰れた家



石川県七尾市穴水周辺 潰れた木工所

古くて耐震性が高くない建物に大きな被害が出ているようです。外観からは、損傷が見られない建物であっても、建物周辺の土が隆起したり給排水設備が使えなかったり、室内に入ると内壁がボードごと剥がれていたり、食器やTV、本棚などの家財の半分以上が破損して処分したりしていました。

能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

大多喜町の歴史まちづくりセミナー開催される

吉村 ゆたか（広報）

大多喜町役場中庁舎大会議室にて夷隅のヘリテージマネージャー堀口智子さんが企画した「大多喜町歴史まちづくりセミナー」が、講師/コーディネーターに日本イコモス国内委員会監事：荻谷勇雅氏を迎え。パネリストに地域で普段まちづくりに関わる団体および学芸員、県立大多喜高校生徒会代表と地元内外住民を交えて意見交換が行われた。主催側想定の50名を超えた80人強の参加者が集まった。



80名強のセミナー参加者

当会からは、久富会長を筆頭に夷隅支部メンバーがセミナー運営のバックアップなどで協力をした。冒頭挨拶を務めた久富会長も大多喜町のまちづくりに建築士としてできることで協力をしていきたいと意気込みを語った。



千葉県建築士会久富会長挨拶

大多喜町平林町長のビデオメッセージでの挨拶では、大多喜町現在の人口は8147人、今年度の出生は3名で、2060年に現在の人口8000人を保つ

には移住者に頼らざるを得ない、移住者にも魅力があるまちづくりのビジョンはどういうものなのかこのセミナーの意見を参考にしたいと期待を寄せていた。



ビデオメッセージを寄せた大多喜町平林町長

大多喜高校生徒会代表から「大多喜町の活性化のための取り組み」について発表があり、交通インフラ整備の提案、高齢者主体ではなく、これからを担う若者に魅力のあるまちづくりをさせてほしいなど鋭い提案・意見が発表された。



交通インフラについて発表する大多喜高校生徒会長



登壇する大多喜高校生徒会代表メンバーと顧問教師

基調講演では、講師の荻谷氏から日本各地で行われた歴史まちづくりについて、パワーポイントによるプレゼンテーションが100頁におよぶ配布資料を交えて紹介された。そして、大多喜町のまちづくりのポテンシャルやダメ出しなどの参考意見が提案された。



パワーポイントによるプレゼンテーションかりやゆうが荻谷勇雅氏

この100ページに及ぶ無料配布資料をもらえただけでもかなり価値のあるセミナーだったと言える、この企画をしたいすみ夷隅のヘリテージマネージャー堀口さんには感謝しかない。



100頁配布資料すいぜん(歴史まちづくり関係者垂涎の書である。)

歴史まちづくりに成功した地域の特徴は、行政+企業+住民+歴史的建造物+観光資源がうまく融合し機能していると感じた。実際の話、成功をしなかった地域もあるという事なので、どうか大多喜町がそちらの分類に入らないことを切に願う次第である。



パネルディスカッションに臨むパネリストメンバー

後半のパネルディスカッションでは、参加者全員を交えて各自の取り組み・質問・意見や提案が出された。ここで感じたことは、やはり、まちづくりというものの難しさである、今回のディスカッションで意見の集約までには及ばず何か歯切れの良くない終わり方だと感じたが、それは、各職種・各世代の考え方の違い・思惑・地元愛などの微妙なズレだと思う。それをどう上手く克服して向かう方向を揃えていくのが課題と思う。

そして今後、いすみ夷隅のヘリテージマネージャー、千葉県建築士会夷隅支部、ちばヘリテージマネージャー協議会が大多喜町関係者と連携していくであろう。この事業の成功を願ってやまない。



企画開催関係者一同

セミナー開催データ

開催日時：2024年2月10日 13：00～16：30

会場：大多喜町役場 中庁舎 大会議室

定員：50名（参加費無料）

主催：房総の小江戸大多喜をつくる会 後援：大多喜町

～弁護士アジローがゆく～#9

「みんなも読もう！『建築士 CHIBA』の巻」

網代 真治（市川・浦安）

皆さん、こんにちは。市川・浦安支部の網代（あじろ）です。普段は弁護士をしています。対話劇で法律と建築に関する記事を連載させていただいております。

今回は第9回目。弁護士アジロー（A）が友人の弁護士（B）と居酒屋で飲んでいるところから始まります。



（B、『建築士 CHIBA 4月号』を手に取り読みふけている。）

B「へえ、君、建築士会の広報誌にこういう連載記事を書いているのかい。」

A「そうなんだよ～。毎月、ネタを考えるのは大変なんだけど、読後の感想をいただくと非常に励みになるんだよね。」

B「すっかり売れっ子作家気取りじゃないか。」

A「ふふん。ちょっと生意気言わせてもらおうと、人気連載漫画家の皆さんの苦労がわかった気がするよ。僕はもう、自分のお気に入りの漫画が長期休載になっても文句を言わないことにするよ。」

B「あ～、君のお気に入りのあの作品か。織田信長が異世界転生するやつだったか？」

A「そうそう！後は魔王を討伐した長生きのエルフの話とか。」

B「異世界モノばかりかよ。ところで、上記の会話程度ならば問題ないのだが、広報誌を作成するうえで著作権には気を配っているのかい？」

A「著作権？ドリフの話ですか？」

B「・・・おいおい。よし講義してやろう。その前に・・・女将、もう2合、日本酒追加で！」

（B、日本酒の入ったお猪口をクイツとやりながら）

B「さて、A君、たとえば『建築士 CHIBA』の表紙に建築物の写真を使うとするよね。これが著作権侵害に当たる可能性はあるだろうか？」

A「うーん。ざっくり言って、「広報誌の表紙に当該建築物の写真を掲載する行為」が、①著作物として保護される建築物の②著作権を侵害する行為といえるかどうか、で判断するのかな。」

B「基本的な判断枠組みはそのとおりだね。では、この世のありとあらゆる建築物が、著作権法で保護される建築物に当たるのだろうか？」

A「著作権法10条1項5号には「建築の著作物」が著作物の例として挙げられているから、著作物になりそうなものだけ。」

B「うむ、実は違う。裁判例（大阪高裁平成16年9月29日決定）は、「『建築の著作物』であるということが出来るのは、客観的、外形的に見て、それが一般住宅の建築において通常加味される

程度の美的創作性を上回り、居住用建物としての実用性や機能性とは別に、独立して美的鑑賞の対象となり、建築家・設計者の思想又は感情といった文化的精神性を感得せしめるような造形芸術としての美術性を備えた場合であると解するのが相当である」と判示しており、一般的な住宅はまず著作物に当たらないだろうね。」

A「じゃあさ、街中でおしゃれな住宅を見つけたら写真撮り放題・・・ってコト!？」

B「ここで注意してほしいのは、あくまで著作権侵害ではないというだけのことで、別途プライバシーの侵害にならないように注意する必要があるよ、ヒック。」

A「・・・ヒック？じゃあさ、神社仏閣や旧岩崎邸のような、いかにも著作物として保護されそうな建築物はどうなの？写真撮ったら、問答無用で損害賠償請求されてしまうの？」



B「実は建築の著作物には著作権法上、重要な規定がある。それは著作権法46条で、建築の著作物は基本的に利用可能とされている。公道から見える範囲で写真撮影をするのは問題ないだろうね、ウィー。」

A「やったー！これで安心して表紙の写真撮影ができるぞい。」

B「ちょっと待ってほしい。著作権法46条があるからといって、何でもかんでも撮り放題ではないんだ。神社仏閣の敷地内や旧岩崎邸の建物内で写真を撮影する場合は、所有者や管理者の施設管理権が及ぶため、きちんと利用許諾を取った方が安全だろう、ウプス。」

A「たしかに、先日、市川・浦安支部で行った旧岩崎邸見学でも係のお姉さんが見学者に注意していたっけ。」

B「また、有名建築物の中には意匠登録や立体商標登録をしているものもあるため、意匠権や商標権に抵触していないかも検討する必要がある。」

A「まるで地雷原を歩いているかのような気分だ。あ、ところでさ、画像生成AIとかPCの建築ゲームとか、ああいうのはどうなの？」

B「zzz・・・。うわあ、ここが異世界・・・。」

A「酔い潰れて寝ている・・・。」

『建築士 CHIBA』の毎号の表紙は、広報委員の皆さんの努力と創意工夫の賜物です。

なお、弁護士アジローは創作上の人物であり、架空の弁護士です。

Ende

中小企業診断士 カッシーに聞け！

～経営知識を身につけよう～

今回から本コラムを担当します土木業界出身・コンサルファーム勤務の技術士（上下水道部門）& 中小企業診断士の柏村と申します。

経営知識の重要性

皆さんは、「経営」を学んだことはありますか？

私は、中小企業診断士として、公的機関から経営が苦しい事業者様のご支援を依頼いただくこともあります。その際、「この経営知識を知っておけばよかったのに」や「当たり前のことができていれば、ここまで苦しむことはなかっただろう」と感じる事業者様も少なくありません。

例えば、利益と手元に残る現金の違い、根拠のある価格設定（根拠のある利益の設定）、経営数字の読み方などをご存知でしょうか。経営者であれば、最低限知っておきたい経営知識があります。

また、知らないと損してしまう情報もあります。

例えば、補助金です。自社が3千万円で買った設備を、ライバル企業は補助金を利用して1千万円で導入していたりします。これでは、競争に勝つことは難しいですね。もちろん補助金を利用しなければいけないわけではありません。ただ、経営者であれば、補助金利用のメリット・デメリットを知ったうえで利用する/利用しないを判断したいものです。

税金ともうまく向き合いたいものです。私たちは思った以上に大きな額の税金を払っています。税金を減らすことができるだけで手元に残せる資金を増やせます。例えば、国が公認している節税策として、「経営セーフティ共済」や「小規模企業共済」があります。条件付きで元本保証され、掛金が損金扱いもしくは所得控除されるため、大きな節税効果があります。

技術者こそ経営を学ぶ

建築士等の技術者がいるから社会が成り立っていると考えています。

ただ、建設業の経営者は、経営のことを学ばず

柏村 斉（市川・浦安）

に経営をスタートしている方が他の業種に比べて多く、経営が苦手な方（もしくは知らない方）が多い印象です。せっかく素晴らしい技術をお持ちなのに、経営の知識がなかったがゆえに、経営が立ち行かなくなってしまうのは、非常に残念ですし、もったいないと感じています。

だからこそ、経営に興味を持ってもらい、知識をつけていただく。それによって、「安定した経営を実現していただきたい」という想いで、本コラムを担当します。

知識は実践が重要

知識は、実際に活用して成果が出て、初めてその価値が生まれます。

ご紹介する知識の中には、すぐに取り組むことができる知識もあれば、自社に置き換えて考えてから取り組む知識もあります。（基本的に、知ってすぐに取り組めることは、他社もできることから差別化に関することは少なく、基本的事項が多くなります。一方、他社と差別化する部分に関しては、自社に置き換えて考えてから取り組むことが多くなります。）

そこで、すぐに取り組むことができる知識、考えて実行する知識をバランスよく連載していきます。このコラムで紹介する知識を是非実践してみてください。

次回以降、お役に立てるような具体的な経営知識を“わかりやすく”紹介しますので、お楽しみにしてください。

ご質問も募集中

皆さまの知りたい情報を提供していきたいと考えているため、「こんな疑問がある」、「こんなことを知りたい」などがございましたら、このコラムで紹介しますので、お気軽にご連絡ください。

ご連絡先：support@valza.co.jp

～手賀沼親水広場・水の館（我孫子市）～

渡邊哲也（柏・我孫子）（撮影）
百瀬登展（行政 OB）（コメント）

手賀沼親水広場・水の館は我孫子市の施設で、市のホームページによれば、「水に親しむ機会を通じて手賀沼の水環境保全の大切さを皆さんに感じていただくことを目的とした施設です。（中略）皆様のご来館をお待ちしております。」とあります。

確かに、にぎわいを創出する場として、ある意味目的を達成しているように思います。週末には駐車場が満杯になるほどだそうです。農産物直売所、レストラン、展望台、プラネタリウム、水辺の遊び場などが人気を呼んでいます。夏場には手前のじゃぶじゃぶ池で小さなお子さん達が楽しく遊ぶ姿が見られます。

元々、水の館は、30年ほど前に千葉県が建設した建物です。当時はバブルの絶頂期で県にも潤沢な予算があり、県内各地で割と大きな建物が多数建てられました。水の館もその一つです。当時私（百瀬）も県の建築物建設を担う部局にいました。隣の係で水の館建設に関係していた先輩に徐々に電話してみました。最初のデザイン構想の段階で「ベルサイユのばら」の作者の池田理代子さんが関わったことなど伺いました。構造的にも難しく苦労されたようです。

その後、建物は我孫子市に移譲され、何度かの改修整備がなされ、今の姿になって多くの人に親しまれています。バブルの時代に建築された建物の地元密着再生の成功例ではないかと思えます。

会員の皆様の地元にもバブル期に建設された大型公共建物があるかと思えます。年月を経て上手く活用されていない物もあるのではないのでしょうか。地域の建築士の知恵の出し所かも知れません。

～会員の動静～

令和6年2月2日～令和6年3月1日

会員数（1,579名）

1) 新会員

○市川・浦安 八田雅章 習志野市谷津

2) 死亡退会 謹んでお悔やみ申し上げます。

○山 武

渡部 文昭 令和6年（享年72歳）

○君 津

濱名 敏功 令和6年（享年70歳）

～編集後記～

年明けから広報委員になり、会議に出席しています。毎回3時間を超える長丁場で、Web出席とはいえ体力的につらい会議です。

会議では紙面の構成・企画から派生して、今後の方向性を視野に入れた様々な意見が交わされます。この議論はそのまま、今後の千葉県建築士会の在り方の模索だと思っています。

価値観の多様化と言われる昨今、会員の皆様のニーズを満たすのは容易なことではありませんが、より良い会報をお届けするために、今月も長い会議に臨みます。

紙面への寄稿をお願いした際は、どうかご協力をお願いいたします。

唐島